

## 欧州特許庁、長官の公募を開始

2017年7月6日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2018年6月30日に任期満了となるEPOパティステリ長官の後任について、公募を開始した。

EPOのウェブサイトによれば、本公募に対する応募締切日は9月14日（必着）とし、長官の任期は5年、2018年7月1日に任期開始予定としている。本公募における選考合格者は、欧州特許機構管理理事会によってEPO長官に指名されることとなる。

本公募に対する応募要件としては、大学以上の学歴を有し、ハイレベルでのマネジメント経験などが必要とされており、特許に関する実務経験や特許制度に対する深い理解、欧州特許機構に関する知識は、選考において有利に働くとしている。

また、本公募に対して応募する際には、応募書類を欧州特許機構の公式言語（英語、フランス語、ドイツ語）で作成して提出すること、加盟国の国籍を有することを示す書面、国籍を有する当該加盟国による支援を示す公的書面、及び、応募動機（書面）を提出することがそれぞれ求められるとしている。

－ EPO による長官公募の情報（ウェブサイト）は、以下参照 －

[President of the European Patent Office](#)

（以上）